



発行・発送人：
長谷川陽一 昭和57年卒 33回生
東京支部 副幹事長
電話 080-4001-8024
FAX 03-5395-0644

平成30年の支部総会・懇親会は 「和太鼓」！！

同窓会での再会、新たな出会いが大きな輪となることを願って、昭和57年卒の皿田泰二さんに日本の伝統の楽器、和太鼓を叩いていただきます。

日時：平成30年5月26日（土） 13時から（12時30分から受付開始）

場所：学士会館（東京都千代田区神田3-28）

皿田泰二さんのプロフィール

1991年に民族楽器のバンド「A・JYOTTA(ア・ジョッタ)」に参加したのをきっかけに、和太鼓を叩き始める。太鼓集団「鼓友会」を主宰する西川啓光さんに師事。数多くの舞台芸術に参加。

2003年ドレミファファスティバルの芦田川の河川敷での太鼓の演奏から、ソロ演奏に挑戦。今回の演奏は、「師匠」「弟子」。

10年前の東京支部総会でも力強い太鼓を響かせてくださいました。

昭和59年卒同窓生一同（平成30年度総会当番幹事）、皆さんにとって、年代を越えた絆が深まる同窓会を目指し準備を進めています。皆様のご参加を心からお待ちしております！

会費

一般：7,000円
夫婦割引：6,000円/人
平成2年から8年の卒業生：6,000円
昭和36年以前の卒業生：5,000円
平成9年3月以降の卒業生：3,000円
学生：無料

出欠確認

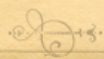
同封のハガキ又はメール・電話・FAXでお知らせ下さい。ご出張等での飛び入り参加大歓迎です！。

ご近況は支部会報に掲載させていただく事があります。

会場：学士会館へのアクセスマップ



- 1 ・都営三田線／都営新宿線／東京メトロ半蔵門線「神保町」駅下車A9出口から徒歩1分
・東京メトロ東西線「竹橋」駅下車3a出口から徒歩5分
・JR中央線／総武線「御茶ノ水」駅下車御茶ノ水橋口から徒歩15分
- 2 ・「東京」駅 丸の内北口からタクシーで10分



平成29年5月27日の支部総会・懇親会 この22年来で最高198名の参加者！！



スタッフはお馴染み赤T



府中高校タオルでお出迎え



支部長 小川さんから宮崎さんに



活動 高校図書館への寄贈



神辺 天寶一の村上康久社長

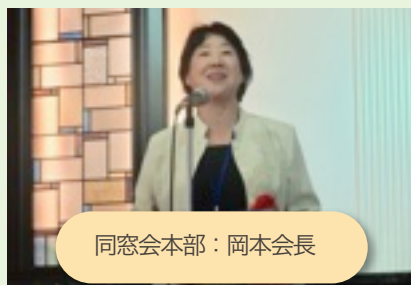
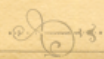


村上校長先生 今の府中高校



神石神楽 演者：59年卒平田さん





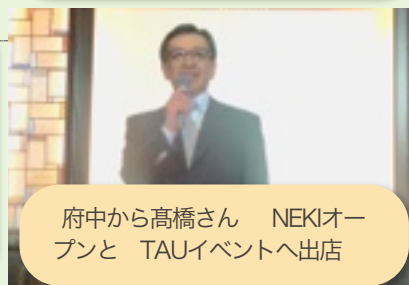
同窓会本部：岡本会長



滅多に飲めないレアもの天寶一



懇親会の入口
には、和田辰国先生の訳書を始め、
同窓生で米国で活躍中のAKこと
「柿原朱美」さんの活動も紹介



府中から高橋さん NEKIオー
プンと TAUイベントへ出店





学年別でスタートした懇親会。途中から
昨年同様出身中学別に移動していただき、
年次を越えた新しい出会いがありました。



お疲れ様でした。58年卒萩原さん



故 吉田憲司さんの書について説明



新任 富永幹事長と宮崎支部長

支部長退任にあたって

支部長退任にあたりまして、一言、ご挨拶をさせていただきます。この4年間、本当に幸せな時を過ごさせていただきました。役員の皆様、年次世話人の皆様、総会に足を運んでくださいました皆様、皆様方とお話をしていると、府中高校の卒業生はなんて素晴らしいのだろうと、いつも幸せな気持ちになりました。

また、事情があり、会場までこれない方々も、会報や通信連絡賛助金を通じて、心のつながりができています。そして、同窓会本部の皆様、および、各支部の方々にも、折に触れて、大変お世話になりました。そこには、いつも、心のつながりがありました。

こうした経験を通じまして、このように多くの素晴らしい方々を世に送り出してこられた府中高校の偉大さを、改めて強く感じています。専門教科の指導だけでなく、人間としての生き方を身をもって示し続けてくださる先生方のおかげで、これだけ多くの素晴らしい卒業生が生まれたのだと思います。

これからは、宮崎新支部長のもとで、東京支部の一体感がますます醸成されますことを祈っています。皆様、本当にありがとうございました。

小川英光 前支部長 昭和35年卒

「二つの府中」（支部長に就任して）

ご存知の通り日本には二つの「府中市」があります。政府への「申請日」は武蔵の方が早かったのですが、備後の「市制施行日」が1日早かったため、両市がほぼ同時期の施行ということで、全国でも珍しい同名の市が誕生することになったそうです。

私は、高校時代の冬休みに「府中郵便局」でアルバイトをしたことがありましたが、当時は手作業仕分けの時代でしたから、「府中違い」で送られてきた年賀状も手作業で「武蔵府中」という棚に仕分けして「武蔵府中郵便局」まで転送していました。ということは、その逆もあったわけですね。

大学時代には吉祥寺に住んでいたので運転免許は「府中試験場」で取りました。その後入社したゼネコンでは、最初こそ府中に近い勤務（広島、岡山）でしたが、その後29歳からは海外部門一筋で、通算25年間（7カ国）の海外駐在でした。中でも、米国（アリゾナ州）の砂漠都市フェニックスにもリョービの現地法人があり、その駐在員が高校の後輩だったことは嬉しい驚きでした。

定年退職後に勤めた小平の会社への乗換駅は「府中本町駅」だったので、行き帰りに懐かしい「府中」の名前をよく見聞きました。府中～海外～府中の人生、これも何かの縁でしょう。

今年8月に神田にオープンした「府中市アンテナショップ NEKI」は、卒業生の来店も多く大盛況のようです。靖国通りに面して地下鉄出口のすぐ「ネキ」にあるおかげで「府中市」の知名度も上昇中。まさに「ビンゴー！」ですね。

これからは、東京に誕生した「新しい府中」を通じての郷里への貢献とともに、同窓会ならびに東京支部のネットワークの拡充が図れればと思っています。

（宮崎孝直 新支部長 44年卒）





●日立と私と府中の赤い糸

府中高校 52年卒 原田実能

.....

東京方面から北に1時間と少し常磐自動車道を走って行くと、日立市のお出迎えの看板が見えてきます。その看板には日立市を象徴する“大煙突とサクラ”がデザインされています。

私が既に25年も暮す茨城県日立市はサクラのまちです。4月ともなると日立の山と云う山…まちのあちらこちらは桜色に染まり、多くの人たちが集う日立市最大級のイベント《日立さくらまつり》が開催されます。

現在人口約18万人の日立市も、110年前は約2,500人の小さな村でした。この小さな日立村の発展の基礎となったのが1905年（明治38年）創業の日立鉱山です。しかし、金属鉱山の宿命的課題とも云うべき煙害問題が深刻化し、周辺住民の暮らしや自然環境に打撃を与え、山々は禿山と化してしまいました。



その煙害対策として1915年（大正4年）3月に建設されたのが日本一の高さを誇った“日立の大煙突”です。大煙突はさまざまな紆余曲折を経て建設されて行きますが、この陣頭指揮を執ったのが日立鉱山の庶務課長（後4代目所長）の角弥太郎（かど やたろう）氏でした。

角氏は地元との共存共栄を理想として辛抱強く交渉に臨み、煙害対策にあたっていました。と同時に自然環境回復のための煙害に強い樹木の研究を続け、オオシマザクラを植樹し、1917年（大正6年）には、ソメイヨシノの美しさに着目し、社宅や学校、道路、鉱山電車沿線などに植樹します。これが日立市内の桜並木の原点となり、今年で100年を迎えました。

この“大煙突とサクラ”を通しての煙害対策は、100年を経た今でも、世界的に稀な成功例として輝きを放っています。

そしてナント!!ナント!! この角 弥太郎氏の出身地が旧芦品郡大正村、現府中市なのであります。私自身この事実を知ったのはほんの数年前。なぜ私が日立を終の棲家としながらまちづくりに精を出しているのか…おそらく角 弥太郎氏に呼ばれたのではないかと思い込み、妄想を広げている今日この頃です。（笑）

更に!! この日立の誇るべき歴史を軸に、英知と人間愛が綴られた、昭和の文豪・新田次郎氏の小説「ある町の高い煙突」が映画化されます。松村克弥監督がメガホンを取り、来年春から日立市内を中心に本格的な撮影をスタート、来年秋ごろの完成、公開をめざしています。

不肖原田も日立市民の代表として、《映画「ある町の高い煙突」を応援する会》の事務局長の立場で運営を進めているところです。先日11月11日には、大井川和彦茨城県知事・小川春樹日立市長・松村克弥監督・原田の四者でのトークフォーラムを開催し機運を高めているところです。

映画「ある町の高い煙突」乞うご期待よろしくお願いいいたします!!!

タンポポは風に吹かれて飛ばされたその場所で深く根をはって生きて行きます。私も、ふるさと府中を思い慕い感謝する気持ちを、第二の故郷日立への郷土愛に昇華させ、これからも赤い糸に導かれたこの地に根付いて、笑ったり泣いたり励ましたり励まされたり雨二モ風二モマケズ暮していこうと思っています。

.....

通信連絡賛助金について

ご存じの通り東京支部では年会費は設定しておらず、発足以来、総会・懇親会の出席者の方々から頂く会費の中から、総会に関する一切の費用や支部の運営経費を賄って参りました。そのため、支部総会は通常の宴席と違い、飲食部分の費用に充てられるのは頂いた会費の5割程度でしかなく、せっかくご出席いただいた方々の満足感を得にくい状況でありました。そこで、支部の活動や会員の方々の近況をご紹介するとともに、支部そのものを身近に感じていただけるようにとの思いを込めて発行しています支部会報を「購入していただく」という意味で、あるいは、東京支部の運営への賛助の意味で、任意の「通信連絡賛助金」という制度を設けさせていただいております。

つきましては、あらためて上記の現状をご理解いただき、「通信連絡賛助金」の趣旨にご賛同いただけましたら、以下の2つの方法のうちいずれかでご協力をお願い致します。お一人様 1000円からとなっております。（毎年でなく、何年かおきでも結構です。）

◆通信連絡賛助金のお支払い方法◆

1. 添付のゆうちょ銀行の振込用紙をお使い頂き、東京支部の口座へお振り込みください。（誠に申し訳ございませんが、振込手数料はご負担お願い致します。）

ゆうちょ銀行 口座番号 : 00280 1 82136

名 義：広島県立府中高等学校同窓会東京支部

*お名前・ご連絡先・卒業年をお忘れなくお書きください。

2. 総会・懇親会当日ご持参いただき、受付にて担当者にお渡しください。

通信連絡賛助金を頂いた方々

(平成28年11月～平成29年8月末まで 卒業年順 年次内順不同 敬称略)

16年卒 吉田 耕三	中村 恵子 (土谷)	小野 公子 唐川 安弘	佐藤 義雄 門田 満江	佐藤 信之	50年卒	(楳田)			
19年卒 大永 勇作	野田 佑 (伊藤)	北川 健司 国松 浩子 (森信)	山本 美美子 (小森)	42年卒 浅野 悦司 石川 みちえ (千葉)	47年卒 今川 修吉 影山 修一 橋本 幸一 新林 睦士 延安 賢治 藤原 善充 山上 明美 (中居)	伊藤 直寿 小田 昌一 血海 康行 富永 博敏 増川 達雄	光成 慎二 矢倉 靖子 (佐々田)	56年卒 飯田 泰弘 藤井 康雄	H2年卒 甲斐 雅之
20年卒 橋高 大典 原 順三	31年卒 小林 成喜 重田 弘毅 山崎 令氏	高田 英昭 東田 喜輔	39年卒 飯田 幸子 (栗根)	奥田 操 川部 武 木原 政子 原 美知子 (名和)	51年卒 金子 由紀子 (馬場)	小林 達志 佐藤 宏一 中山 幹彦 中山 ひとみ 服部 修二 藤井 昌子 (石岡)	53年卒 占部 博司 石橋 正文 小川 由美子 (柿本)	57年卒 石岡 裕子 (小川)	H3年卒 田辺 智也
22年卒 大塚 欣二	32年卒 鴨田 卓爾 後藤 広太郎 戸田 豊	桑田 制三 黒木 主晴 五阿彌 延衣 小林 健二 末村 正義 門田 耕爾	40年卒 植岡 宏三 岡田 知行 鎌倉 康裕 齊藤 登美子 (近藤)	44年卒 大本 知治 掛江 実 宮崎 孝直 宮崎 千代子 (松坂)	48年卒 東 千明 (小田)	五十嵐 志津 (栗栖)	菊地 真由美 (桐島)	57年卒 石岡 裕子 (小川)	H11年卒 稲垣 元博
26年卒 宅味 大治	33年卒 服部 保弘 森平 和美 (小川)	37年卒 金田 邦彦 神谷 俊男 高杉 玲子 (桑田)	40年卒 植岡 宏三 岡田 知行 鎌倉 康裕 齊藤 登美子 (近藤)	44年卒 大本 知治 掛江 実 宮崎 孝直 宮崎 千代子 (松坂)	48年卒 東 千明 (小田)	五十嵐 志津 (栗栖)	菊地 真由美 (桐島)	57年卒 石岡 裕子 (小川)	H13年卒 井沢 梓
27年卒 助迫 邦利	34年卒 桑田 英樹 佐伯 澄江 佐藤 敦子 (小川)	37年卒 金田 邦彦 神谷 俊男 高杉 玲子 (桑田)	40年卒 植岡 宏三 岡田 知行 鎌倉 康裕 齊藤 登美子 (近藤)	44年卒 大本 知治 掛江 実 宮崎 孝直 宮崎 千代子 (松坂)	48年卒 東 千明 (小田)	五十嵐 志津 (栗栖)	菊地 真由美 (桐島)	57年卒 石岡 裕子 (小川)	H27年卒 檀浦 歩
28年卒 赤繁 昌子 神田 庄二 児玉 克治	34年卒 桑田 英樹 佐伯 澄江 佐藤 敦子 (小川)	37年卒 金田 邦彦 神谷 俊男 高杉 玲子 (桑田)	40年卒 植岡 宏三 岡田 知行 鎌倉 康裕 齊藤 登美子 (近藤)	44年卒 大本 知治 掛江 実 宮崎 孝直 宮崎 千代子 (松坂)	48年卒 東 千明 (小田)	五十嵐 志津 (栗栖)	菊地 真由美 (桐島)	57年卒 石岡 裕子 (小川)	H27年卒 檀浦 歩
29年卒 井上 紀子 (平野)	34年卒 桑田 英樹 佐伯 澄江 佐藤 敦子 (小川)	37年卒 金田 邦彦 神谷 俊男 高杉 玲子 (桑田)	40年卒 植岡 宏三 岡田 知行 鎌倉 康裕 齊藤 登美子 (近藤)	44年卒 大本 知治 掛江 実 宮崎 孝直 宮崎 千代子 (松坂)	48年卒 東 千明 (小田)	五十嵐 志津 (栗栖)	菊地 真由美 (桐島)	57年卒 石岡 裕子 (小川)	H27年卒 檀浦 歩
佐藤 詔三	34年卒 桑田 英樹 佐伯 澄江 佐藤 敦子 (小川)	37年卒 金田 邦彦 神谷 俊男 高杉 玲子 (桑田)	40年卒 植岡 宏三 岡田 知行 鎌倉 康裕 齊藤 登美子 (近藤)	44年卒 大本 知治 掛江 実 宮崎 孝直 宮崎 千代子 (松坂)	48年卒 東 千明 (小田)	五十嵐 志津 (栗栖)	菊地 真由美 (桐島)	57年卒 石岡 裕子 (小川)	H27年卒 檀浦 歩
30年卒 浦上 浩	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	55年卒 小野 恵美 (柴床)	58年卒 児玉 和久 近藤 信章	
	35年卒 小川 英光	38年卒 甲斐 弘己	41年卒 品川 裕明 棚橋 壽美 (橋本)	46年卒	52年卒 石岡 義章 竹中 廣虎 殿元 清司 橋本 雅文 宮坂 初恵 (福地)	52年卒 石岡 義			



会員近況

(平成28年12月から平成29年4月頃のご連絡を掲載しています)

20年卒

長谷川 暢洋

母校の最終学年は呉の海軍工廠での勤労働員となり、授業は全くなく、空腹と疲労の毎日であった。江田島の海軍の学校で終戦を迎え、直ぐ上京し何とか上の学校を卒業。就職後は転勤や出向で引越すこと15回。今や退職後20年。卒寿まで1年余、府中を出てから73年を経過。故郷（府中・上山）への懐かしさは募るばかりであり。毎年支部総会に出席したいと思い乍ら体調や他用で不都合となり欠席となった。今年も欠席となるが来年はぜひ出席したいと願っている。残り少なくなった級友との再会を期している。今年も盛会をお祈りしています。

29年卒

田中 忠夫

家内は府中高校の卒業生ではありませんが、神石神楽をぜひ見たいと申し、同席させていただきます。

井上 紀子（旧姓：平野）

昨年の同窓会に初めて出席させて頂き、本当に懐かしく嬉しく思いました。女性は一人でしたが、皆さまとお話しをしていると府中高校で学んだ日々を思い出しました。これからも元気でいる為に、ヨガ太極拳、オカリーナとお友達と共に楽しく過ごして行きたいと思います。

30年卒

中村 恵子（旧姓：土谷）

子供の頃、神石神楽のズンズンという響きが身体のどこかに残っていて、死ぬまでもう一度見たいと思っていた神楽が見られるなんて嬉しいにつきます。NHKBSプレ

ミアム「舞え！Kageura姫」も見ています。

34年卒

佐伯 澄江（旧姓：谷川）

ゴルフ。50歳からクラブを握って、ホールインワンを達成して週一度のラウンドを楽しみにしています。

36年卒

買原 雅恵（旧姓：木下）

私の同期とは毎年一泊旅行を楽しんでいます、同期の方たち以外の方にお会いできるのも楽しみです。

1月は冥土の土産にと、ネパール旅行で、エベレストの山々を空から楽しみました。

とても登山ができる山々とは思えず、神々しい景色に心打たれました。

エベレスト博物館では、田部井さんの冥福もお祈りしてきました。

街中は地震の影響もまだ痛々しく埃がすごくて閉口しました。カースト制度が存在し、貧富の格差も大きいようですがそれでも活気があり、人々は目があうと笑顔で返してくれました。

新城 鉄美

最近耳に残る 新沼謙治さんの『ふるさととは今もかわらず』は、府中周辺を彷彿とさせます。校歌の前後に、BGMなり、歌唱なり聴きたい気持ちです。

40年卒

妹尾 一成

現在 三宅島在住です その週の前半上京する用もありますので27日には出席させて頂きたいと思っています

45年卒

品川 滋邦

昨年の懇親会後半、出身中学ごとの席替えでは地元のむかし話に花が咲き、楽しいひと時でした。ありがとうございました。

昨年11月15日、府中本部同窓会に出席いたしました。5年後の平成33年の同窓会では当番幹事が回って来る予行演習としての年でしたので、80人程の同級生が参加しました。

東京支部総会には10回近く参加させて頂いておりますが、本部同窓会には卒業後初めての参加で、同期の皆様の顔と名前が一致しない方が沢山いらっしゃいましたが、二次会にも参加しこちらも楽しいひと時を過ごすことができました。

47年卒

大須賀 隆子（旧姓：正木）

現在の仕事が2017年度にいったん片付けば、同窓会に行ける余裕が生まれます。

55年卒

岡部 美保（旧姓：河本）

神石神楽が楽しみです。神楽好きなんです。

平成13年卒

井沢 梓（旧姓：神田）

会報にて、皆様のご活躍や同窓会での笑顔あふれる写真などを拝見し、私も頑張らなくてはとやる気がでてきます。子育ても慌ただしくしていますが、落ち着きましたら、是非支部総会にも参加させて頂きたいです。

訃報

謹んでお悔やみ申し上げます

37年卒 吉田 憲司様

*吉田様には長年にわたり支部懇親会会場の題字を書いていただきました。本当にありがとうございました。

45年卒 松川 賢二様

52年卒 前原 秀子様（旧姓 西畑）

59年卒 生方 美穂様（旧姓 掛江）



新企画 ANA機体工場見学

それぞれの卒業年次の世話人から声をかけて集まった総勢50名で羽田空港のANA機体工場の見学を致しました。普段見ることのできない機体整備の様子を目の当たりにして、一同大興奮！。終了後は有志で打ち上げ。楽しい会でした。企画してくださった方・お世話になったANAのみなさま、本当にありがとうございました。（紙面の都合で写真は集合写真だけです。ゴメンナサイ）

●参加者を代表して、最も参加者の多かった60年卒有志の声●

・特に整備士さんの工具箱に一人ひとりの名前が記載され、細かい配慮や見落としがないよう何重ものチェックを経て、フライトにこぎつける。命を預かる使命感が、整備場内からヒシヒシと伝わってきて、感慨深いものがありました。いろんな思いを乗せて飛んでいる飛行機。金融業界にいた私には、未知な世界で、興味深い1日となりました。（高橋 知美）

・「今度、高校の同窓会で、行くんだー」と話したら、みんな、チョー羨ましがっていました。たしかに期待をはるかに超えた行事でした。工場と言っても、ビックリするくらいきれい。さすがだなー。機種の説明も丁寧。いやあ、実に充実した1日となりました。（日野 克則）

・実は羽田空港を利用したことは数えるほどしかない私。小雨の降る寒い中、駅から整備工場へと歩いていく道すがら、見慣れない大きな建物が並んでいる非日常の光景に少しビビりながら、向かいました。到着すると、同窓生の方々がたくさん！ アットホームな温かい雰囲気の中、とてもわかりやすい説明会のあと、いよいよ工場見学。テレビドラマでしか見たことのない大きな機体と広い整備工場に大興奮！ SNS全盛の時代。実際に足を運ぶこと、顔を合わせて話をすることがいかに贅沢な体験なのかとあらためて教えていただいたような気がします。（今田 浩明）

・仕事の中でいろいろな業種の工場を見学してきましたが、油等の汚れが一切なく、また整備員ごとの工具箱が整然と並べてある職場を拝見し、あらためて安全・信頼に対する取り組みや意識のレベルの高さに強く感銘を受けました。（河田 克也）

・機体全体を間近に見て、スケールの大きさやフォルムの美しさに圧倒されました。翼の裏側に作業する一人分が入る凹みのあるスペースがいくつか外側からも見てとれましたし、おびただしい数の工具箱にはすべてに持ち主の名前が貼られ、24時間体制でシフトを組み、従事されるとお聞きし、細部まで行き届いた整備に感心しました。

企画・発案者から

オトナの社会科見学、ANAの整備工場の見学会を通して新旧の同窓生が集い新たな出会いの場になればと思い企画しました。新しい仲間も参加して貰えて一定の成果があったと思います。今回は同窓生限定のイベントになりましたが、家族、パートナーと一緒に参加できるイベントも今後の課題だと思いました。（57年卒 植松晴美）

府中のいま

(平成29年10月の様子です)

「最近、府中になかなか帰る事がなくなって」とおっしゃる方がいらして、10月に同級生2人につきあってもらい、市内を駆け足で回ってみました。



目崎車庫あたりから市内中心部の眺め



母校に向かう道です。

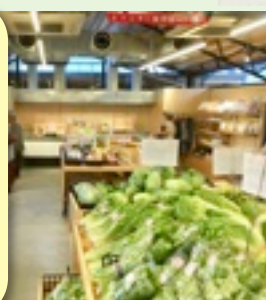


昨秋オープンした「道の駅」にありました。府中焼きMAPは知ってましたが、←この府中家具味噌MAPは初めて！

→道の駅の紹介パンフの表紙は、平成15年卒ヒラノトシユキさんの絵が！



タンス・家具の町府中らしく、木肌がみえる暖かみのあるスペースに物販・飲食スペース・無料のイベント・休憩スペースがありました。





「恋しき」
には庭を眺めな
がらお茶をのみ
ながらおしゃべ
りができるスペ
ースも



今回、初めてお邪魔した「府中市歴史民俗資料館」は府中市総合体育館（旧ウッドアリーナ、今はTTCアリーナと呼ばれています）の隣にあります。職員の谷重さんも府中高校のOBで、この地が「国府」だった事、それを調査・研究してきたのが、府中高校の地歴部の面々だったと教えていただきました。今でも国内の考古学分野で活躍しておられるOBが沢山いらっしゃるそうです。全てが驚きと感動でした。



国府小学校のそばにある「若葉家具」さんも代々府中高校のOB。「のどこ」というステキなショールーム。特にイスは自社だけでなく、他社のものも含めて座り心地を体感！



仏壇のイメージが変わります。二つのお位牌が祀られます。



急なお願いにもかかわらず、お仕事から「府中の今」を知り尽くしている平成2年卒の武田美佐子（旧姓：長谷川）さんには、本当にお世話になりました。同期の小森山さん、大浜さん、つきあってくれてありがとう。



**広島県府中市のアンテナショップが
東京・神田に初出店！
府中市をねき(身近)に感じて！**

府中市アンテナショップ「NEKI」は、「備後府中焼き」や府中市にちなんだメニュー、府中市・近隣市町と連携したメニューが味わえます。また府中市が生んだ美味な名産品や職人による雑貨を販売、府中市の観光・就職情報や企業情報も提供しています。スタッフにも、備後府中焼きの焼き師を中心に府中ゆかりの人をそろえ、「食」「物」「人」ぜんぶで府中市の魅力を発信していきます！



備後府中焼き [飲食ブース]



B-1 グランプリでも人気を集める「備後府中焼き」を中心に、府中市や近隣市町のおいしい名物が味わえます。定番の肉玉そばや看板メニューのあぶりネギマヨをはじめ、広島県産かきを使った定食メニューもおすすめ。全40席の広い

店内は、ランチや夕食での利用はもちろん、打ち合わせや宴会まで幅広くご利用いただけます。備後府中焼きはテイクアウトも可能。

多目的スペース [情報ブース]

各種イベントの開催から、企業の展示会、商品のマーケティングなどにも活用できる、多目的スペースを開放しています。



府中市の名産 [物販ブース]

名物「府中味噌」をはじめ、地元食材をつかったお菓子や木工雑貨、バッグやシューズなどのファッションアイテムなど、特産品約200アイテムがずらり！カーブグッズも30アイテム以上を取り扱っています！



広島県府中市アンテナショップNEKI

都営新宿線：神田小川町駅 (A6 出口徒歩1分) 丸の内線：淡路町駅 (A4出口徒歩2分) 千代田線：新御茶ノ水駅 (徒歩5分)



〒101-0052 千代田区神田小川町1-3-1 NBF小川町ビル1F

電話 03-6811-7980

定休日 日曜日

ランチ 11:30~14:30 (L.O.14:00)

ディナー 17:00~22:00 ※ご予約承ります。

(L.O.食事 21:00 ドリンク 21:30)

HP <https://www.neki-hiroshimafuchu.com>

食ベログ 「NEKI」で検索

運営 府中商工会議所 電話 0847-45-8200

-NEKIから広島県立府中高等学校同窓会東京支部の皆様へ-

『生ビールorハイボールをプレゼント』

二人様以上のグループで本誌を「NEKI」にお持ちいただくと、グループ全員に「生ビールまたはハイボール(レモン以外)」を1杯無料とさせていただきます。

なお、ご使用は、ディナー営業時間17~22時(ラストオーダー21時30分)に限ります。

※使用可能期限：平成30年1月31日まで【定休日：日曜】

ご利用は1回
に限らせてい
たきます。

NEKI

平成30年の本部・各支部の総会の日程

本部：11月11日(日) 関西支部 6月16日(土)

広島支部：4月30日(月・祝) 東京支部 5月26日(土)

◆送り主◆編集・発行責任者

府中高校同窓会東京支部 名簿・広報担当副幹事長

長谷川陽一 (57年卒 33回生)

〒112-0011 東京都文京区千石2-44-16

TEL: 080-4001-8024 FAX: 03-5395-0644

Mail: yo_hase@mac.com

～編集後記～

今号からOG2名に編集に加わっていただきました。一人で10年もやっていると変な慣れができて自分自身に飽きてきてしまいます。新しいアイデアや女性ならではの感性を活かして更により良い紙面作りを目指して参ります。

初めて東京支部総会に出席した方から、「初めて出会った先輩・後輩なのに、なぜか、とてもフレンドリー！なんなのこの感じは！ほんとに、府中高校に行ってよかったと、50歳過ぎて、つくづく感じました」と言って頂き、同窓会の事、私もやって良かったと思いました。